

## 第9回 大分うつ病対策講演会

# 精神疾患はもっと回復できる疾患であるはず ～統合失調症を中心にして～

市民講座

統合失調症は人口の1%に発症する。好発年齢は15歳～40歳、慢性化することが多い疾患である。本人、家族の苦悩は大きく、回復にむけた試みが多くなされてきた。初回エピソード精神病への早期介入とのサービスは1989年英国北バーミンガムで始まり、1992年にオーストラリア、そして欧米諸国に急速に広がっていた。早期治療と支援が慢性化を防ぎ、よりよい回復をもたらすことができるようになってきた。しかし日本での実践は途に就いたばかりである。慢性期の病状をもつ人たちが、希望をもって地域で生活ができるようになって欲しい。2009年に用いることができるようになった新しい抗精神病薬は、他の抗精神病薬が無効であった治療抵抗性統合失調症に効果をもたらす唯一の薬である。病状に圧倒され自宅に引きこもっている人、長い入院を余儀なくされている人に希望をもたらす薬物療法である。この病気からの回復には、「ひと」の支えが必須である。地域で当事者と家族とが支えられる仕組みが必要である。岡山での実践報告とともに、「もっと回復できる」ために今、何をこなう必要があるのかについて考えたい。

演者

## 来住 由樹 先生

岡山県精神科医療センター院長

日本精神科救急学会理事 日本司法精神医学会評議員、教育研修委員会委員  
岡山県児童虐待防止等専門サポートチーム委員 岡山県精神保健福祉審議会委員  
岡山県社会福祉審議会委員 岡山県薬事審議会委員



日時

平成28年

10月15日(土)  
16:00～18:00

場所

大分大学医学部 臨床大講義室

開会挨拶

寺尾 岳 先生 (大分大学医学部精神神経医学講座 教授)

司会

塩月 一平 先生 (大分大学医学部精神神経医学講座 外来医長)

定員300人・事前申込不要

主催 大分うつ病研究会  
協賛 国立大学法人大分大学  
会長 寺尾 岳  
事務局長 穂吉條太郎

お問い合わせ先

大分大学医学部  
精神神経医学講座

〒879-5593

大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

TEL 097-586-5823